

宮城県内15市町の 職員不足について 〔ご説明資料〕

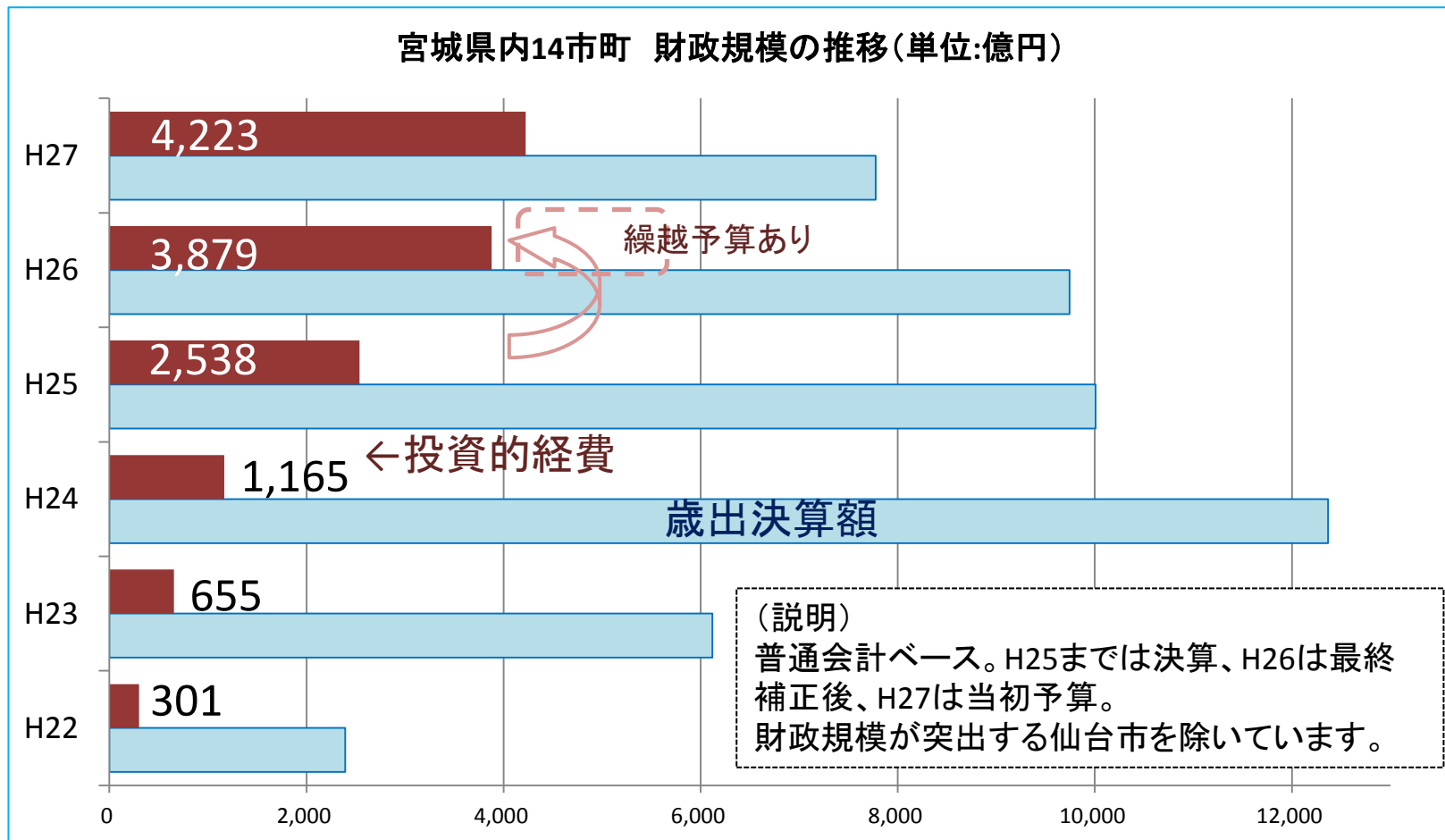


多大なご支援に心から感謝申し上げます。
平成27年度は一層の職員不足が見込まれます。
引き続きのご支援を、お願いいたします。

平成27年3月30日 宮城県

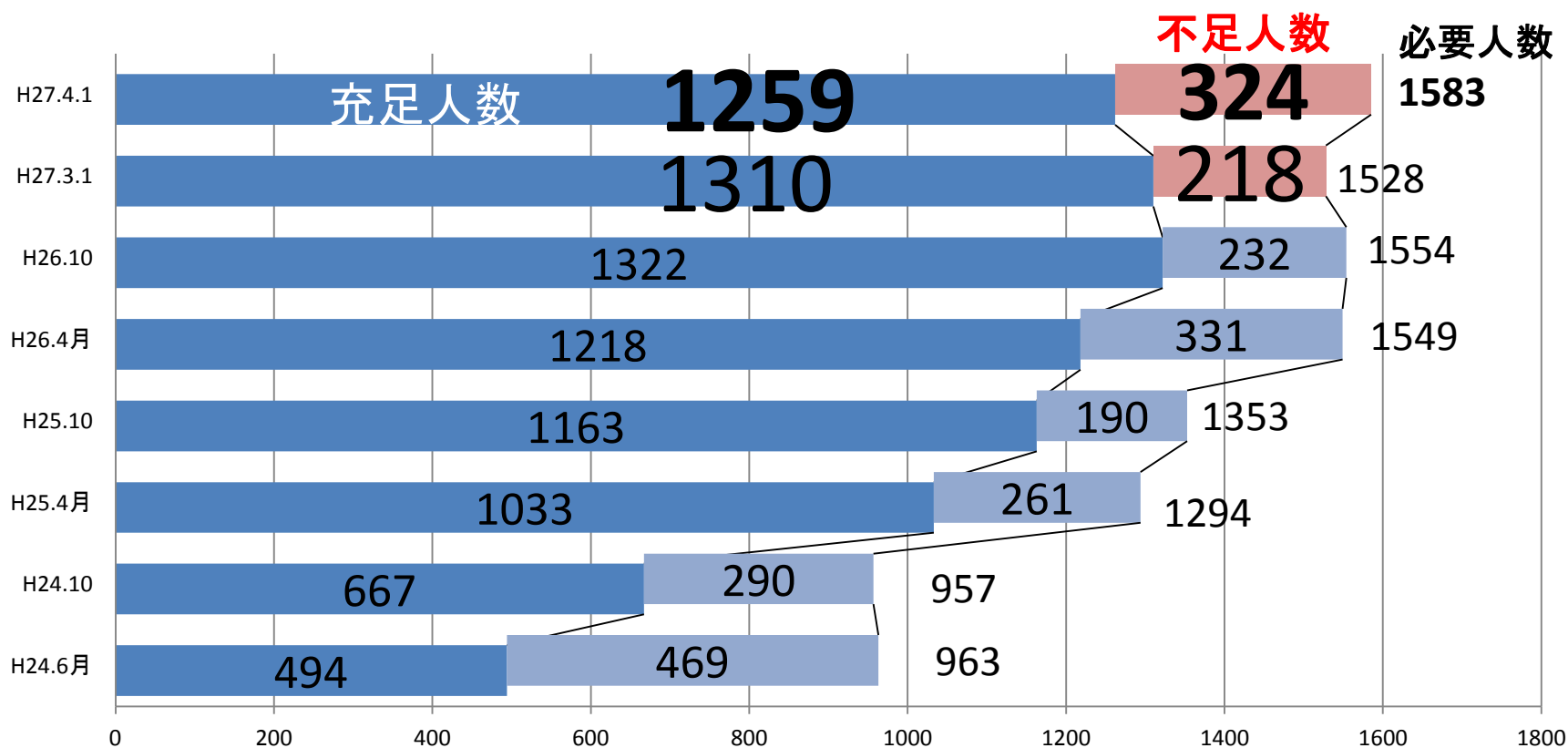
(本資料の計数は今後異同を生じることがあります)

復旧・復興関連事業は、これからが本番を迎えます。
投資的経費は、震災前(平成22年度決算)の14倍に増えています。



このため、平成27年度は「必要人員」が増加します。
 一方で、「充足人数」(4月1日時点)は減少が見込まれます。
 → 従って、不足人数が拡大しております。

必要職員数と不足状況 (必要人数－充足人数＝不足人数)

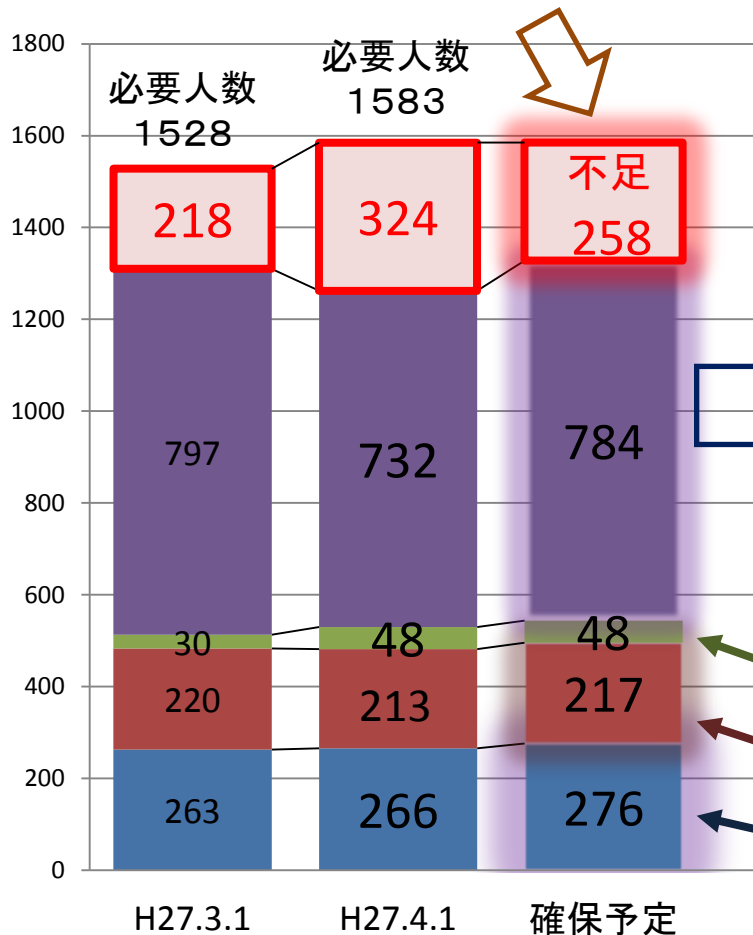


各市町での採用(任期付職員など)、県内市町村からの派遣、宮城県職員の派遣(任期付職員を含む)などで対応に努めています。

しかしながら、どうしても県外自治体や民間企業等のご支援が必要です。

4月以降の見込み分を含めても...

現時点で、4月2日以降に66人が充足できる見込み(派遣内定や採用予定)です。それでも **なお258人が不足**です。



即戦力として職員派遣が求められます!

- ・県外自治体様の職員派遣
- ・復興庁様の職員採用
- ・企業様職員の直接採用
- ・全国市区町村OBの皆様

県内市町村から派遣

宮城県から派遣

被災市町の職員採用

宮城県内でも連携して不足解消に努めていきます!

復興まちづくり(防災集団移転、区画整理、市街地再開発など)をはじめ、施設整備、産業立地、被災者の方々の健康支援など、多様な職種が必要とされています。
 もともと小規模な市町が多いこともあり、事務職、技術職ともに、即戦力となる人材(現職の方、OBの方)が必要です。

不足数(258人)の職種別内訳

※平成27年度見込み(4月以降見込み分を考慮後)



〔事務職〕

必要人数773
 充足621
 +(4月以降22)
 = 643
130が不足

〔土木職〕

必要人数507
 充足405
 +(30)
 = 435
72が不足

〔建築職〕

必要人数142
 充足117
 +(7)
 = 124
18が不足



これまで貴重な人材を派遣いただいている自治体や民間企業の皆様には、心から感謝いたしております。



派遣された職員の方々は、被災市町職員と一体となり、復興のため各種の業務を担っていただいております。

「得がたい体験ができた」、

「充実感がある」、

「帰任してからの仕事に活かしたい」、

などの言葉をいただいております。

復興を遅らせないため市町ではあらゆる努力を続けています。

宮城県や県内市町村もできるだけ支援をしてまいります。多くの担い手(職員)が必要な実態をご理解いただき、皆様の引き続きの人的支援をお願い申し上げます。